

平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第1区選挙公報

静岡県選挙管理委員会



自民党公認

かみかわ陽子

ようこ

未来への責任を果たします。

二〇二〇年をめざして——

新しい「国のかたち」。

一九六四年の東京オリンピック。日本が大きく飛躍した年でした。あれから五〇年。いま私たちを新たな挑戦が待ち受けています。二〇二〇年東京オリンピック・パラリンピック——これからの六年。日本が次の時代を切り拓く大きなチャンスです。挑戦とは、限られた資源を最大限活かすこと。「モノよりチエ」、「モノよりヒト」が求められる今こそ、政治も、私たちの知恵が試される時代です。めざすものは——

おおらかな自信に満ちた、私たち。安心安全で、内と外の風通しが良い社会。人々の知恵が、世界中を魅了する国——日本。

そのために——

◆だれもが生き生きと活躍できる社会の構築

- 女性、高齢者、若者の活躍
- 安心して子供を産み育てることができ環境の整備
- 働き方の多様性とワークライフバランスの実現
- 地域のニーズにあった雇用の確保と労働条件の改善

◆持続可能な社会保障制度をつくる

- 国民皆保険・皆年金制度の堅持
- 自助・共助・公助のバランスが取れた社会保障制度
- 健康寿命の延伸と予防医療・介護の実現
- 医療サービス充実と医療費支出の抑制の両立

◆競い合う地域の魅力・静岡の魅力

- オールジャパンで、世界最高水準のおもてなしを実現
- 富士山、駿府城下町・静岡を日本のおもてなしの玄関口にお茶と農畜産物・海産物で豊かな食文化・産業発信
- 新しい経済成長の芽を育成
- 海洋開発などでエネルギー資源の多角化
- 二〇二〇年を展望した「観光立国」の実現
- 農業の六次産業おこし

◆国民生活の安心安全を確保

- 犯罪テロ・伝染病を防止
- 大規模災害、地震、津波に強い地域をつくる
- 外交で東アジアの平和と安定を実現

静岡で生まれ育った誇りをもって

【経歴】静岡市生まれ。静岡雙葉中学校・高等学校を卒業後、米国ハーバード大学院で政治学修士号を取得。二〇〇〇年衆議院選挙で初当選。

【実績】国務大臣（少子化・男女共同参画、初代公文書管理担当）、総務副大臣、衆議院厚生労働委員長、自民党国会対策委員長、女性活躍推進本部長などを歴任。現在、法務大臣。犯罪被害者基本法を議員立法で制定したほか、公文書管理法の制定に尽力。自民党静岡県第一選挙区支部長。

【家族】夫と娘が二人。

【政治信条】為政清明（大久保利通の言葉「政治に携わる者は、心が明るく澄んでいなければならない」）



民主党公認

まさきの聖修

せいしゅう

市議1期 県議3期 衆議院議員4期

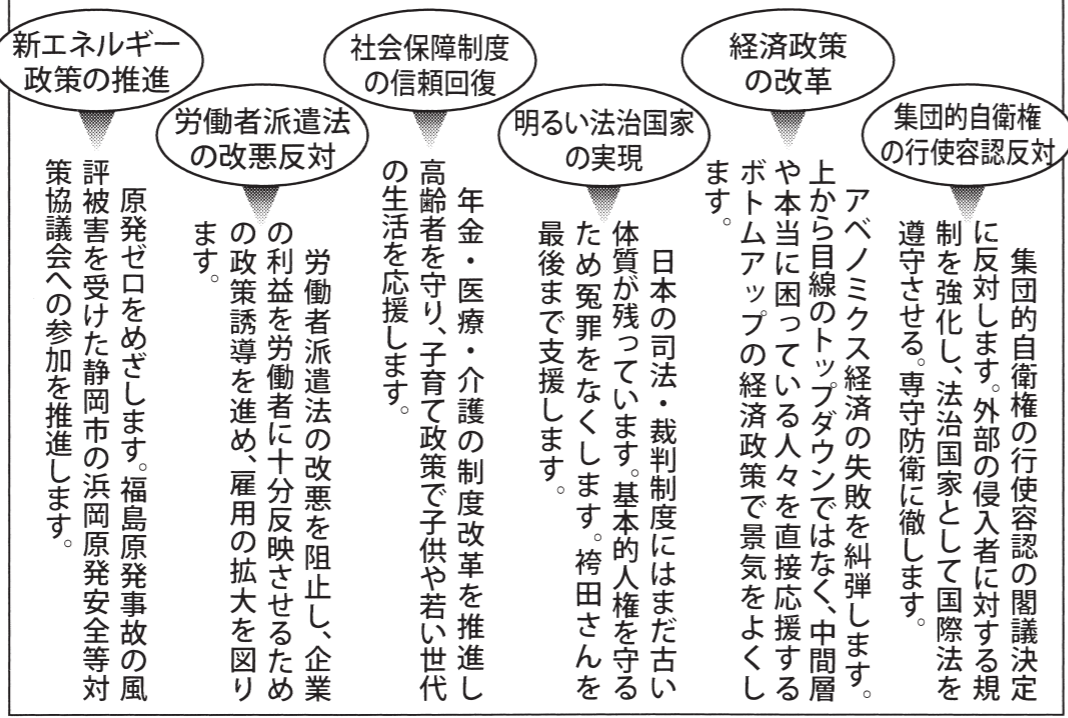
平和な日本を大切に！

戦争をしない国・格差のない社会

今、日本は危機的状況にあります。国の基本である平和主義と民主主義が揺らいでいます。自民党は、戦争のできる国へと日本のカジを切り、これ程国家国民にとって危険なことはありません。あくまでも、私達は平和な日本を守らなければなりません。又、社会はアベノミクスにより、格差が一段とひどくなり「貧富の格差」、「世代間格差」、「地域間格差」が大きくなり生き苦しい社会となりました。このひずみを糾し、「バランスのとれた安らぎのある社会」を築いてゆかねばなりません。これが、永い間政治家として努力してきた、私の更なる使命であると信じています。

暮らしを守る力になります。

まさきの聖修の重点政策



さらに詳しい情報はまさきの聖修 ホームページまで

<http://www.seishu.org>

まさきの聖修 プロフィール

昭和20年5月4日生まれ、静岡市駿河区馬淵1丁目在住
アソカ幼稚園、静大附属小・中学校、静岡高校卒業

昭和44年3月 中央大学法学部卒業
昭和46年4月 静岡市議当選(25歳、1期)
昭和53年4月 静岡県議当選(32歳、3期)
平成3年4月 細川護国氏らと日本新党を結成
平成5年7月 衆議院初当選(日本新党)
平成8年9月 菅直人氏らと『民主党』を結成
平成21年8月 衆議院4期目当選(民主党)
平成21年9月 倫理選挙特別委員長
平成22年9月 懲罰委員会筆頭理事
平成23年4月 弾劾裁判所裁判長
9月 経済産業副大臣
平成24年10月 民主党総括副幹事長
民主党静岡県第1区総支部長

身を切る改革を進めます！

安倍総理が本気になれば定数削減は可能であるにも関わらず、約束は一切果たされていません。アベノミクスは、富める者をより富ませただけで、過度な円安、悪い物価上昇、実質賃金の低下、格差の拡大を招き国民生活を悪化させました。まず、2年前のお約束に立ち返り、議員定数の削減を進め、社会保障の充実と安定のための財源を確保します。

投票日に仕事やレジャーなど予定のある方は「期日前投票」をしましょう。

12月13日(土)まで 午前8時30分～午後8時

(一部地域を除く)

静岡県選挙管理委員会・静岡県明るい選挙推進協議会



平成26年12月14日執行

衆議院小選挙区選出議員静岡県第1区選挙公報

静岡県選挙管理委員会

比例は

日本共産党

とお書き
ください。

安倍政権の

暴走ストップ! 政治を変えましょう

カあわせて

「国民が主人公」をつらぬける訳は

「アメリカいいなり」「大企業優遇」やめる

「アメリカいいなり」、「大企業・財界の横暴な支配」を打破して、日本の本当の独立と、政治・経済・社会の民主的な改革をすすめます。

汚れたおカネはうけとらない

なんの苦勞もなしに税金山分け。政党助成金はカネ感覚をマヒさせ、政治を腐らせています。日本共産党は、企業・団体献金禁止、政党助成金廃止を提案しています。

消費税10%

「先送り」でなくキッパリ中止

「消費税に頼らない別の道」を

- 富裕層と大企業に應分の負担をもとめる
- 大企業の内部留保を活用し、国民の所得増で税収を

アベノミクス

「格差拡大」の暴走ストップ

くらし第一で経済たて直す

- 人間らしく働ける雇用のルールを
- 社会保障一切りすてから充実へ
- TPP撤退、農業と中小企業の振興

集団的自衛権

「戦争する国」づくり許さない

憲法9条生かした平和外交を

- 若者・息子を戦場に送らない
- 「海外で戦争する国」にする「閣議決定」は撤回
- 秘密保護法廃止

浜岡原発

再稼働NO!!

「原発ゼロの日本」へ

- 再生可能エネルギーの普及を



http://www.jcp-shizuoka.jp

かわせ幸代お約束

「消費税増税でガマンも限界。10%になったらもう暮らせない」ーみなさんの思いではないでしようか。憲法も原発も庶民の声を無視した安倍暴走をストップさせ、政治を変える絶好のチャンスです。みなさんと力をあわせてがんばります。



かわせ幸代

日本共産党

プロフィール

1951年生まれ、63歳。静岡大学農学部卒業。西部市民生協働員、党静岡地区副委員長。

世襲もしがらみも特権も断つ日本一の志

実のある改革は身を切る改革から

改革

①

消費税

“理念なき増税はギリシャへの道”

増税の前にやるべきことがある!

・規制改革で成長の種を大きく伸ばす ・官の肥大化を食い止める ・議員定数&報酬削減

改革

②

原発

“課題先進国の大いなるチャンス”

原発再稼働の前にやるべきことがある!

・静岡発、再生エネルギーが循環する世界へ ・地域に眠る資源を掘り起こす ・人災は二度と起こさない

改革

③

憲法

“国民不在で日本の未来を決めてはいけない”

憲法解釈改憲の前にやるべきことがある!

・まずは自国を守る権利を ・改憲は国民の投票、解釈は司法で ・経済、食料、エネルギーを柱に国際協力を

企業・団体献金を一切受け取らず
議員宿舎にも入らず
静岡から毎日国会へ通う



小池まさなり

維新の党公認 県総支部代表

静岡県第1選挙区(葵区・駿河区)前衆議院議員

NPOが選ぶ三ツ星国会議員(2年連続、毎回全議員722人中約10人が選出、県内唯一)

〈プロフィール〉

◆工学博士、元東京大学大学院特任助教、元日本大学准教授、総合商社勤務 ◆静岡工科大学自動車学校特別講師 ◆静岡青年会議所、消防団(第14分団)所属

届けよう あなたの声を 投票で

